

山田高等学校、生徒職員を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

本日ここに、山田町と県立山田高校との「連携協力に関する協定」を締結することになりましたこと、大変光栄に思っております。町長 佐藤信逸 様 はじめ、協定締結に奔走していただいた関係各位に対し、衷心より感謝申し上げる次第です。

本校は県立高校ではありますが、山田町唯一の高等学校として、これまでも、避難訓練やサマーチャレンジ・海の運動会の運営、スクールバス無償運行・各種講演会・ふるさと探究高校生議会等で山田町と良好な関係を構築して参りました。また、生徒達はそれぞれに、町主催の行事やボランティア活動・秋祭りなどに参加しています。こういった活動の裏には、本校生徒の地元自治体に対する、深い郷土愛があると感じています。

令和4年度より、高等学校新学習指導要領が施行になり、「豊かな創造性を備え持続可能な地域社会の創り手となる生徒の育成」ということが明記され、地元自治体との連携協力は不可欠となっています。協定締結により、より深い学びが可能となり、「確かな学力のうえに豊かな創造性と個性を備え、正義・倫理を持った市民として、地域社会の将来を担う人材の育成」という本校の目指す生徒像の実現につながると期待しています。

また、東日本大震災からまもなく10年となり、山田町では災害公営住宅や防潮堤の建設といったハード面の復興が進む一方、人口減少・産業振興・観光誘客・交通弱者対策・医療福祉・そして学びの保証など、様々課題を抱えています。協定締結により、それらの課題に高校生の視点から、なお一層主体的に取り組み、多様な考えを踏まえ、新たな価値を創造し、それを地域社会に還元することで、持続可能な自治体運営に協働して取り組むことが可能になると期待しています。

この協定締結による一層の連携の取り組みが、山田高校の魅力創造を一層推し進め、中学生の進学先としてより魅力ある高校になりますこと、また本校生徒の学びが山田町の一層の発展に貢献する一助となりますことを念願してやみません。現在もある「Win—Win の関係」がさらに強く結ばれ、未来の山田町と未来の山田高校生にも継承されていくことを願い、お礼の挨拶とさせていただきます。

令和3年2月26日

岩手県立山田高等学校校長 宮 学